

👉インプラント上部構造に、フルジルコニアを安心して使用するための決定版！

👉全国各地の著名歯科医師とのコラボレーション症例も必見！！

デジタル・モノリシック・ インプラントレストレーション

Longevityを追求した、機能と審美が両立する
ジルコニアモノリシック上部構造製作のためのプロトコール
山下恒彦：著

秋山和則／笹部雅大／一柳通宣：執筆協力

佐藤洋司／白鳥清人／瀧野裕行／夏堀礼二／増田英人／

南 昌宏／三好敬三／安岡大志／米澤大地：症例提供



▼デジタルデンティストリーの進展とともに、ジルコニアモノリシックレストレーションも常識となった現在。しかし、インプラント上部構造としての利用では、精度の問題や破折のリスクにさらされてきた臨床家も多いと思われる。そこで本書では、インプラント技工において30年以上の経験をもつ著者が、ジルコニアモノリシックレストレーションを安心して使用するための技術を惜しみなく披露。現代のインプラント補綴に携わる臨床家必見の一冊。

▼チタンベースの設計、チタンベースとジルコニアの接着法、蛍光性の付与、ステイニング、ジルコニアディスクの選択基準、印象採得法（デジタル&アナログ）などなど……現在、フルジルコニアに求められる要素のすべてがここに！！

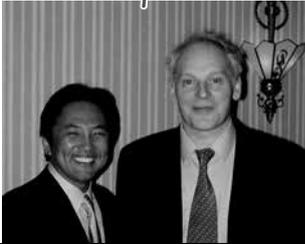


インプラント技工経験 30 有余年の知見から語る、 最新のデジタル・モノリシックジルコニア上部構造の真髄がここに

インプラント技工の黎明期から現在に至るまで、1980 年代から世界の最前線で活躍し続ける歯科技工士・山下恒彦氏。1993 年には CEREC システムの生みの親である Dr. Werner H. Mörmann (チューリッヒ大学) およびジルコニア材料の臨床応用を早くから開始した Dr. Peter Schäfer (チューリッヒ大学) と、そして 1994 年には歯科用 CAD/CAM の概念を打ち立てた Dr. Francois Duret (南カリフォルニア大学) といった世界の巨人たちと相次いで出会い、早くから CAD/CAM とジルコニアの有用

性と問題点に関する知見を深めてきた。本書では、そんな山下氏が多くの経験を基に到達した、最新のインプラント上部構造製作法について余すことなく紹介。現在考える、もっとも安全かつ審美性の高いチタンベースを用いたモノリシックジルコニアインプラントレストレーションについて、そのコンセプトから材料選択、そして実際の製作法に至るまで詳説する。また、山下氏が携わってきた著名歯科医師とのコラボレーション症例も満載。現代のインプラント補綴に携わる臨床家必見の一冊。

Chapter 1



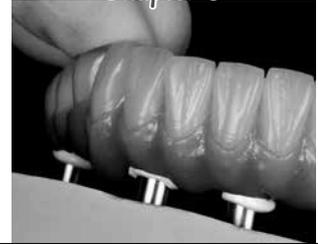
筆者の Digital Dentistry 関与の歴史

Chapter 2



カスタムチタンベース (Ti-Base) の必要性

Chapter 3



ジルコニア補綴物と Ti ベースのセメンテーション

Chapter 4



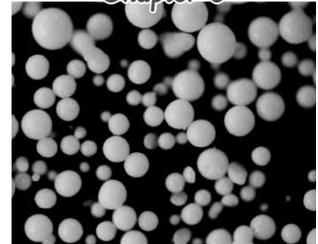
ジルコニアへの蛍光性付与の必要性

Chapter 5



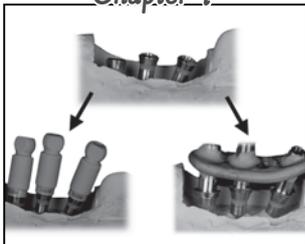
ジルコニアへのカラーリングの成否を決める要素

Chapter 6



ジルコニアディスクに求められる条件と正しい取り扱い

Chapter 7



Verification Jig の口腔内採得方法と製作法

Chapter 8



Zac System を使用したジルコニアインプラント補綴物製作法

Chapter 9



カラーアトラス 症例集：デザインとコンセプトの変遷

きりとり線

注文書

デジタル・モノリシック・インプラントレストレーション

Longevity を追求した、機能と審美が両立するジルコニアモノリシック上部構造製作のためのプロトコール
モリタ商品コード:208040710 冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。